

医療連携だより

病院事業管理者就任のご挨拶

奥州市病院事業管理者 岩村 正明



このたびは奥州市病院事業管理者の大役を仰せつかり、微力ではありますが今までの経験を活かし皆さんと一緒に全力をあげてこの難局を乗り越えていきたいと思えます。

私の好きな言葉は、論語にあります「思無邪（おもいによこしまなし）」という言葉です。つまりまっすぐな心、正直な心が大切ですよとの教えです。もうひとつ仏教にあります「和顔愛語（わけんあいご）」で、意味するところは、おだやかな笑顔と思いやりのあるやさしい言葉で語りかけるということです。

病院と診療所と介護事業者等の連携は、ますます重要となり情報提供も件数的にはさかんになったと思えます。しかし、医療職でないため介護事業者の中には情報の内容が伝わりにくいなど、質的な改善など工夫の必要がまだ課題としてあげられるのではないのでしょうか。

声に出せない人、利用に伴うスティグマ（恥）を感じる人、経済的な問題等、それぞれの事情に配慮して、患者さん一人に2人の主治医ともいわれる時代です。真に患者さんを中心においた多種多様な観点からのケアが期待されています。

医療者自身が健康で意欲的に笑顔で働くことが、医療の安心・安全の質を高め、ひいては患者さんのためになることです。おりしも新元号の令和はBeautiful Harmony と英訳するそうです。新しい時代にみなさんのたゆまぬ研修と今後の医療の向上を願い挨拶とさせていただきます。



座右の銘とともに

《奥州市総合水沢病院基本理念》「市民に身近な医療を提供する病院」「健全を基盤に活力のある病院」

【方針】 「市民と職員との心の通い合う医療を目指して」

1. 患者様最優先の医療サービスを志します
2. 市民の健康を増進する医療サービスに努めます
3. 最善かつ負担の少ない医療を提供します
4. 医療水準の向上に努め、安心安全を提供します
5. 地域の各医療・保健・福祉機関等と連携します

新任医師ご挨拶



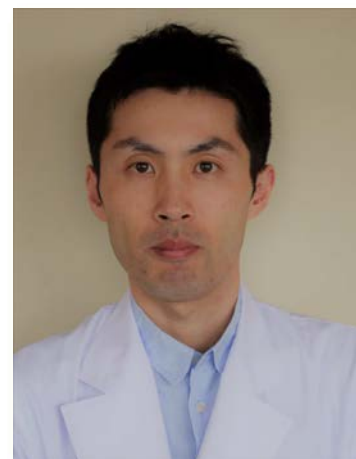
おの でら かつひろ

内科 小野寺 克洋

4月から県立胆沢病院より異動となりました。これまでは呼吸器内科を中心に診療していましたが、奥州市総合水沢病院では内科勤務となりますので、呼吸器疾患に限らず、幅広い診療を心がけたいと思います。

北東北3県は全国的にみても呼吸器内科医が不足しています。一方であくまで死亡統計にはなりますが、死因で最も多い悪性新生物の中では肺癌が最も多く、肺炎は5位、誤嚥性肺炎が7位です（平成29年）。平成28年までは肺炎の中に誤嚥性肺炎が含まれ3位であり、平成29年も両者を合わせると3位相当になります。男性の中では慢性閉塞性肺疾患（COPD）という主に喫煙によって起こる疾患も8位に含まれています。

水沢病院の内科入院においても肺炎の割合が多く、今後も高齢化に伴い、呼吸器疾患の患者さんは増えていくことが予想されます。特に誤嚥性肺炎については嚥下機能自体の低下が影響しており、繰り返す方が多いです。完全に予防することはできず、いかに起こしにくくしていくか、患者さん・ご家族のニーズに合った診療を目指したいと思います。



たかはし しゅうすけ

整形外科 高橋 秀介

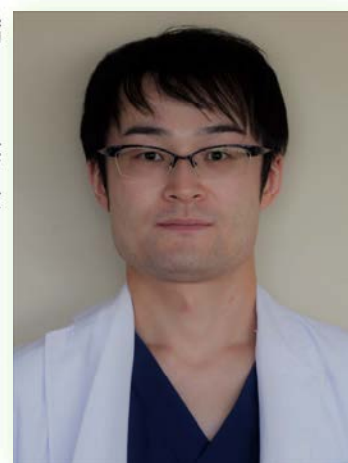
今年度から奥州市総合水沢病院整形外科に配属になりました高橋秀介と申します。

現在東北大学病院整形外科の専門医プログラムの専攻医として研修中であり、平成30年度は仙台市の東北労災病院で1年間研修を積み、今年度は総合水沢病院で1年間研修をさせて頂くことになりました。

出身は奥州市衣川であり奥州市には非常に慣れ親しんでおります。初期研修医のときには東北大学病院からたすき掛け制度を利用して3カ月間総合水沢病院で研修をさせて頂きました。その折には総合水沢病院のスタッフの方々に大変お世話になり、またこの病院で働きたいという気持ちが生まれました。今回再度総合水沢病院で医師として働けることを大変光栄に思います。

整形外科医としてはまだ駆け出しですので、この1年間は骨折などの外傷を始め、変形性関節症などの変性疾患についても可能な限りの症例を経験していきたいと考えています。

また、私自身も平成31年2月に腰椎椎間板ヘルニアを発症し、下肢の疼痛・しびれの症状により歩行困難になるという経験をしました。自ら疾患の苦しみを体験したことにより脊椎疾患に対する興味が深まるとともに、患者さんに寄り添うような診療を心掛ける良い経験となりました。現在日本は超高齢社会を迎えています。奥州市も例に漏れず高齢化が進んでおりロコモティブシンドロームの患者さんが多く受診されることが予想されます。そういった方々の力添えになれるよう努力していく心構えです。



市民向け出前健康講座と出迎え院内講座を行います

◆市民のみなさま向けの出前健康講座を行います。

講座の内容はテーマ一覧の中からお選びいただけます（糖尿病や訪問看護、口腔ケアなど1～13までのテーマがございます）。

奥州市内に拠点を置く団体またはグループで概ね10名程度の参加が見込まれる会で開催します。

申込書は当院と奥州市役所、水沢各地区センターにございます。また、ホームページからもお取りいただけます。



昨年度の出前講座の様子です。理学療法士からの「転びにくいからだを作る体操」の実践トレーニングをしているところです。

◆「水病ちょこっと講座2019」を行います。

市民のみなさんを対象に定期的に職員が院内で講義を行います。

場所：総合水沢病院 2階外来（旧小児科外来）

日時：毎月第4火曜日

①回目 10:00～ ②回目 10:30～

※1回20～30分程度の講義を予定しています。

※内容は①、②とも同じです。



お知らせとお願い

- ・受託検査申込書の様式に変更があります。

【移動方法】の欄が追加となりましたので、お申込みの際はご記入をお願いします。

2019年度 コミュニティサポート研修会のご案内

よりよい介護と医療の連携を目指し、今年度もコミュニティサポート研修会を開催致します。今年度1回目の研修会を下記内容にて実施します。

- 日時 : 平成31年6月14日(金)
開場18:00 開会18:15 (19:30終了予定)
- 場所 : 奥州市総合水沢病院 6階会議室
- 内容 : 小野寺医師より「誤嚥性肺炎の仕組みと予防のポイント」
NSTより「食事介助の方法」「口腔ケア」実技
- 対象者 : 介護・医療関係者の皆さま

※希望の方は医療連携室 (019-25-3833 : 内線257)

までご連絡ください。

また、当日の参加も可能です。



いつもお世話になっております！ 奥州市総合水沢病院 医療連携室です

今年度は看護師3名、医療ソーシャルワーカー3名、医療社会事業士1名(精神科デイケア専従)の7名体制です。

「良質で安心・信頼できる医療サービスの提供」を医療連携室目標として、迅速かつ丁寧な対応をしております。

今年度もどうぞよろしくお願い致します。



奥州市総合水沢病院 医療連携室
〒023-0053
岩手県奥州市水沢大手町三丁目1番地
電話 0197-25-3833 (代表/内線257)
FAX 0197-25-4012 (医療連携室直通)
URL <http://www.mizhsp-iwate.jp>

